



左／小池秋永地区の「花みずき部会」の皆さん。地域の資源保全活動を行っています

下／小池秋永地区の入り口に設置されたフラワーガーデン。季節の花が植えられます



地域の広報紙を発行 弥生時代の土器発見

夏の土曜日の朝、通称「やまんした排水路」の土手に花を植えていたのは、「花みずき部会」の皆さんです。小池秋永地域の資源保全活動が主な目的で、2007年に結成されました。会では前田水神社の清掃や肥後菖蒲園の手入れ管理、地域の清掃などを行っています。「みんなで力を合わせて、汗を流す時間はいいものです」と皆さん口々に話します。

また小池秋永地区では、昭和54年から集落の広報紙「小秋乃里」が発行されています。地域の大人や子どもたちの寄稿や地域の行事などが掲載されており、130戸全戸に配布されています。

「昔からここに暮らす人、新しく転居された人との交流を育む冊子でもあります。これからも長く続くことを



「やまんした排水路」横の小道に花を植える「花みずき部会」の皆さん



上／秋永遺跡から出土した「人面付土器」(御船高校所蔵)

小池秋永地区で発行されている広報紙「小秋乃里」



願っています」と話すのは区長の渡邊章一さん(69)です。

また小池秋永地区では、各工場が集まる辺りに広がる「秋永遺跡」から、弥生時代の土器などが多量に出土しています。「弥生時代に、この場所に多くの人が暮らしていたことが分かりました」と町の教育委員会生涯学習課の堤英介さん(46)が教えてくれました。弥生時代後期のものと思われる全国でも珍しい「人面付土器」も発見されており、いにしへの歴史ロマンを感じます。



工場が立ち並ぶ一帯にある「秋永遺跡」。弥生時代の土器などが出土しています



左／小池秋永地区について詳しく教えてくれた渡邊区長